

# きもの豆知識

## 半幅帯について

きちんとしたいときに着る名古屋帯や袋帯とは違い、半幅帯は気軽に着れるのが魅力。そんな半幅帯の魅力についてみていきましょう。

### 前で結べる

体の前で結んで完成形を確認してから後ろに回すので手がかかれず形よく結べます。

### 必要な小物が少ない

帯締帯揚げを使わず、帯だけでも結べる形が多いので、簡単です。

### 1本で裏表が楽しめる

基本的に両方使えるものが多いので、1本で2本分の柄が楽しめたり、おなかの部分折り曲げたりすれば雰囲気を変えて結べます。

### おすすめの半幅帯の結び方



#### 角出し風→

角出しのような幅広のゴージャスな帯姿が特徴。帯締などと組み合わせればよりきちっと感が出ます。

#### ←貝ノ口

普段使いにはピッタリの結び方。より気軽にしめたいときには、邪魔にならず、通な帯姿になります。



# 歌舞伎のススメ

## ～三月歌舞伎座公演 助六由縁江戸桜～

3月の歌舞伎座の大歌舞伎夜の部で上演される『助六由縁江戸桜(すけろくゆかりのえどざくら)』。この演目は、天保年間に7代目市川團十郎がお家の芸として選定した歌舞伎十八番の中でも最も上演回数も多く人気のある演目。2010年の『歌舞伎座さよなら公演』で今は亡き、十二代目市川團十郎(いちかわだんじゅうろう)さんと十八代目中村勘三郎さんの助六は歴史に残る名演でした。

今回の公演で、助六を演じるのは当然のことながら、市川海老蔵(いしかわえびぞう)さん。海老蔵さんは2000年に助六を初演して以来、8回目だそうです。お父さんの團十郎さんの助六とどう違うのか興味をそそられるところです。

江戸時代に、この助六を最初に二代目團十郎が演じると、江戸中の評判となり、助六のまげをまねするほどだったそうです。現在の助六は寛永2年に團十郎が演じたものがもとで、現代に伝わっているそうです。また助六のシンボルのはちまきの江戸紫は八代将軍徳川吉宗が奨励されたそうで、のちに江戸の名物となったそうです。現在でははちまきと下駄と蛇の目傘は魚河岸、蔵前・新吉原のごひいき筋からから貰い受けるしきたりとなっていて、衣装や小道具に至るまで江戸文化の華やぎを集めたものだそうです。



かわちやの

## 着付教室 12回

1回1000円

かわちやの着付け教室ではそれぞれの目的やスケジュールにあわせたカリキュラムを組んでいきます。

お気軽にご相談ください。

お問い合わせは

TEL 0563-35-0039 大橋幸子まで



### 竹次郎～ TAKEJIRO CAFE ～ コラム



オープンから4か月経ちました。お客様の注文内容を見てみると、ほとんどの方がコーヒーで、続いて抹茶。カプチーノと抹茶ラテは注文が少ないのですが、実はこの二つも超自信作です。よろしければお試しください。

### 新コーナー

## 今月のコーディネート



やわらかい久留米紬の洋品はパンツにもスカートにも相性がよく、品よく、優しい雰囲気になります。

少しずつ暖かくなってきた陽気に誘われて、久留米紬のジャケットを羽織れば、きちんとしたお出かけコーディネートになります。

久留米紬ジャケット 31,320円 カットソー 4,580円 ネットレス 4,860円

## 草木染講習会

日時 4月19日(水)

午前の部 9:30～午後の部 13:00～

会費 1,000円(1回につき)+材料費

用意するもの: 厚手のゴム手袋、エプロン

### 春色のTシャツを染めよう!



ラックやあかねのピンクや桑の葉の黄色を組み合わせるとTシャツを染めてみませんか!

## イベント案内

ギャラリーカフェ

竹次郎 TAKEJIRO CAFE

3月23日(木)～27日(月)

半幅帯・草履を特集します。